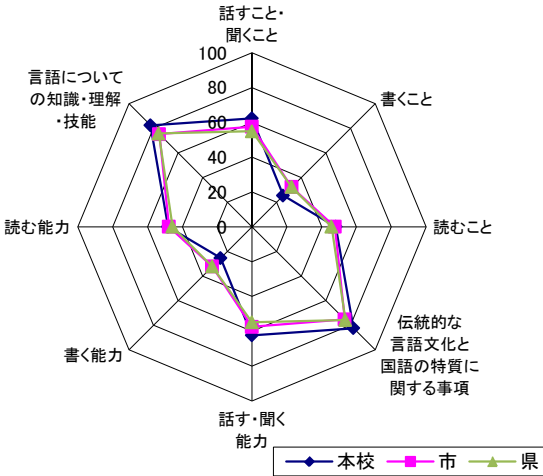


宇都宮市立海道小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	62.3	57.5	54.9
	書くこと	25.4	32.3	32.3
	読むこと	48.2	47.7	45.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	82.4	75.3	75.8
観点	話す・聞く能力	62.3	57.5	54.9
	書く能力	25.4	32.3	32.3
	読む能力	48.2	47.7	45.7
	言語についての知識・理解・技能	82.4	75.3	75.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は県と比べて7.4ポイント高い。 ○話し合いにおいて、理由を挙げながら筋道を立てて話すことができています。学校全体で学級活動を中心にして各教科で話し合い学習を推進している成果と考えられる。	・今後も授業の中に話し合い学習を意図的に取り入れ、話し合いのルールの徹底を図る。また、意見の根拠を明確にして話す習慣や友達の意見を正確に聞く習慣が身に付くようにする。
書くこと	平均正答率は県と比べて6.9ポイント低い。 ●文章構成を意識し、内容を工夫して報告レポートを書くこと及びメモを基に、報告レポートに記述する内容を考えて書くことについて課題が見られる。	・今後は国語の授業を中心に、わかりやすく書くにはどのような文章構成にすればよいのかを理解し、活用できるようにする。 ・児童の興味や関心のあることをテーマに選び、自分の考えや思いを書く場を増やし、書くことへの苦手意識を軽減する。
読むこと	平均正答率は県とほぼ同じである。 ○目的に応じて文章を要約することや文章を読んで考え、まとめたことを発表し合うこと、叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読むことができています。 ●登場人物相互の関係や物語上での役割を考えること及び叙述や会話文を基に、登場人物の性格を考えることに課題が見られる。	・今後も授業の中で文章を手がかりに登場人物の気持ちや段落の要点を読み取る学習を行い、作品の要旨や主題に迫れるようにする。 ・授業の中に音読や友達との話し合い学習の場をより多く設け、登場人物相互の関係や役割、登場人物の性格等について理解できるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は県と比べて6.6ポイント高い。 ○日常使われている簡単な単語をローマ字で書くことや国語辞典の使い方、文の主語や述語になる語句の類別ができています。パソコンを使ってローマ字に親しませてきたことや難しい語句が出たときに国語辞典を使って調べさせてきたこと、また、文中の主語述語の関係を意識させてきたこと等の指導の成果であると考えられる。	・今後も国語辞典の活用やパソコンを利用したローマ字指導を行い、言葉の意味やローマ字の読み書きへの理解を促す。また、作文指導や読み取り指導の中で文の主述関係や修飾関係を取り上げ、理解が深まるようにする。 ・漢字の読み書きは、宿題や朝の学習で前学年の内容も取り入れて反復練習し、習得できるようにする。